

6) Publication under JITSUKAI HEISEI 3-17778:

This disclosure is also characterised by a circular sewing attachment to be mounted at the right-hand side of the needle position.

Compared with our application, this disclosure will require additionally the provision of a drive mechanism for a circular or round table.

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-17778

⑬ Int. Cl.⁵D 05 B 35/00
23/00
// D 05 B 13/00

識別記号

A
G

庁内整理番号

9047-4L
8118-4L
8118-4L

⑭ 公開 平成3年(1991)2月21日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全2頁)

⑮ 考案の名称 円形縫いミシン

⑯ 実 願 平1-77368

⑰ 出 願 平1(1989)6月30日

⑱ 考 案 者 田 口 一 夫 東京都調布市国領町8丁目2番地の1 ジューキ株式会社
内⑲ 考 案 者 守 永 貞 男 東京都調布市国領町8丁目2番地の1 ジューキ株式会社
内

⑳ 出 願 人 ジューキ株式会社 東京都調布市国領町8丁目2番地の1

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 縫製機構と、針落ちに合わせて回転し、被縫製物に円形の縫目を形成するためのラック部を有する回転機構と、

前記ラック部に啮合するピニオンを具え縫製動作に同調して回転機構を駆動するための駆動機構とからなることを特徴とする円形縫いミシン。

(2) 前記回転機構は、ミシンテーブルに固定され、円形状で周縁に立ち上がり部を設け、中心部に貫通孔を有した布枠体と、

被縫製物を載置し、前記布枠全体内で回転可能な回転下円板と、

回転下円板に重なり合い、被縫製物を回転下円板に押えるとともに上面には、ラック部を形成した回転上円板と、

ワンウェイクラッチを有し、前記回転下円板と回転上円板とを回転可能に軸支する回転軸とで構成したことを特徴とする請求項1記載の円形縫いミシン。

(3) 前記駆動機構は、縫製機構に連動する回転駆動部と、減速機と、前記回転機構のラック部に

啮合して、前記回転機構に保持される被縫製物を回転させるピニオンと、

減速機およびピニオン間に介装される回転伝達手段と、

ピニオンのラック部に対する押え圧の調節手段とで構成したことを特徴とする請求項1記載の円形縫いミシン。

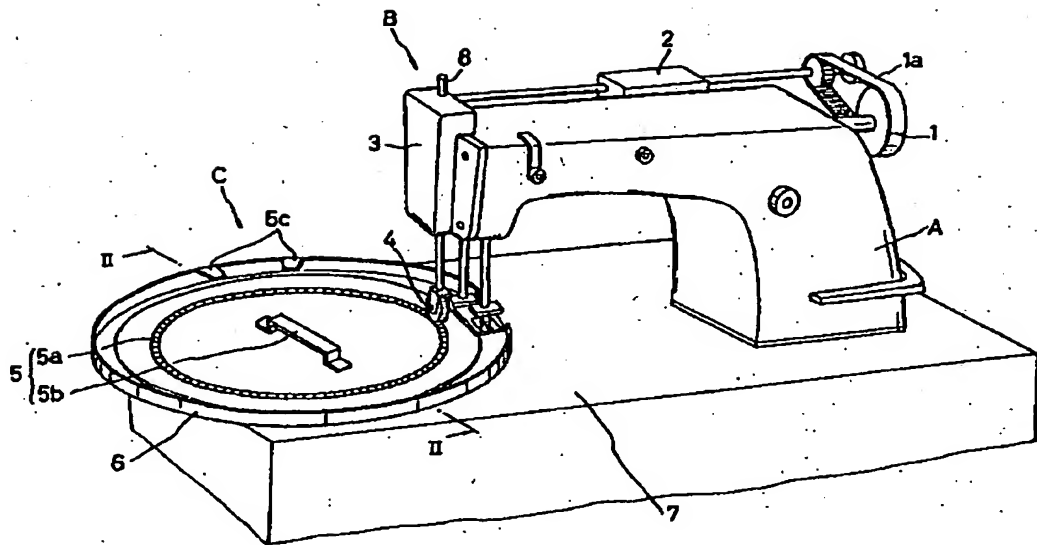
(4) 前記縫製機構は、2本針2重環縫いミシンであることを特徴とする請求項1記載の円形縫いミシン。

図面の簡単な説明

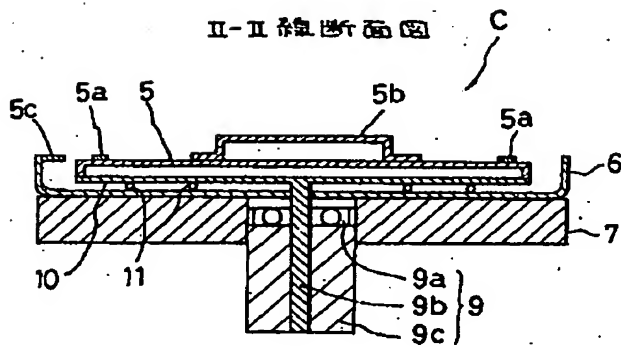
第1図は、この考案に係る円形縫いミシンを示す斜視図、第2図は回転機構の構成を示す第1図におけるII-II線断面図、第3図は、縫製終了時のエアバックを示す斜視図である。

図において、A……縫製機構(2本針2重環縫いミシン)、B……駆動機構、C……回転機構、1……回転駆動部、2……減速機、3……回転伝達手段、4……ピニオン、5……回転上円板、5a……ラック部、6……布枠体、7……ミシンテーブル、8……調節手段、9……回転軸、9a……ワンウェイクラッチ、10……回転下円板。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

